

研究大学強化促進事業に関する平成26年度意見書

(2015/03/10 実施のアドバイザリーボードのファイナルコメントを掲載)

Final Comments

●評価者：A

すでに一部お話しさせていただきましたけれどもとても重要なことは医科歯科大学のお持ちのビジョンをみんなと共有するということです。いかに情熱を持っていらっしゃるか、世界のトップ100に入るんだという情熱を持っているということをみんなに理解してもらおうということ、そして皆様方が持っていらっしゃる同じレベルの情熱を他の人たちも共有して持って支援してもらえるようにするということだと思います。

●評価者：B

素晴らしいアドバイスのあとに続けて私が補完することがあるのならば、やはりきちんとその使命の実現に貢献した人に報いるべきだということです。認識し報いるということ、必ずしも財政的な金銭的な面ではなくそれ以外のミッションに貢献できた人をきちんと祝福する例えば表彰するというようなことが大事だと思います。お金ですと必ずしも適切な人材の動機づけにならないということがありますので、ほんとに皆様方の新たなミッションに貢献した人を見つけて報いるということが大事です。

●評価者：C

最後のレコメンデーションになりますが、色々なレコメンデーションを我々がさせていただいた、そのレコメンデーションのどれを取るか最終意志決定を今後なさると思うのですが、そして意志決定後、実行に移されて1～2年後のまた我々をお招きいただいて、そしてどれほどそれが実現したのか、どういった進捗があったのか、ということをもた報告していただければ我々のためにもなりますし、皆様のためにもよいかと思います。